

第10巻 2・3年 下【2】

Chapter	Page	Title	Time
	P.34, 35	曲の背景を知って、名曲を味わおう。	
	P.34	誰のためのレクイエム？	
C-1		「レクイエム」から “ラクリモサ(涙の日)” (W.A.モーツァルト 作曲)	(3:43)
C-2	参考	「レクイエム」から “ディエス・イレ(怒りの日)” (W.A.モーツァルト 作曲) 指揮：コリン・デイヴィス／バイエルン放送交響楽団／バイエルン放送合唱団	(2:05)
	P.34	曲想の激しさゆえのエピソード	
C-3		エチュード ハ短調(「革命」) (F.ショパン 作曲) ピアノ：フジコ・ヘミング	(3:01)
	P.35	妻の語りが広げたイメージ	
C-4		「アランフェス協奏曲」から 第2楽章 (J.ロドリゴ 作曲) ギター：福田進一／指揮：岡田 司／新日本フィルハーモニー交響楽団	(10:44)
	P.35	指揮者と作曲者の連携から生まれた名作	
C-5		ノヴェンバー ステップス (武満 徹 作曲) 尺八：藤原道山／琵琶：友吉鶴心／指揮：山田和樹／横浜シンフォニエッタ 藤原道山15th Anniversaryコンサートより	(19:23)
	参考	そのまま使ってない！	
C-6		交響曲第9番「新世界より」から 第1楽章 (A.ドボルザーク 作曲) 指揮：ヤン・ハルペツキー／チェコ・ナショナル交響楽団	(9:45)
	参考	初演は怒号飛び交う大混乱	
C-7		バレエ音楽「春の祭典」から “序曲”～“春のきざし” (I.ストラヴィンスキー 作曲) 指揮：ヤン・ハルペツキー／チェコ・ナショナル交響楽団	(5:50)
		特集	
C-8	P.48, 49	国境を越えて影響し合う音楽 ＊メヌエット (滝 廉太郎 作曲) ピアノ：三浦洋一 明治維新後、西洋音楽の吸収が始まった。 ＊花 (武島羽衣 作詞／滝 廉太郎 作曲) 指揮：辻 正行／合唱：クロスロード・レディース・アンサンブル／ピアノ：吉田けい子 ＊赤とんぼ (三木露風 作詞／山田耕筰 作曲) 歌：土居裕子／ピアノ：吉田けい子 ＊かちどきと平和 (山田耕筰 作曲) 指揮：山田一雄／東京都交響楽団 日本の伝統音楽にも変化が生まれた。 春の海 (宮城道雄 作曲) 箏：宮城喜代子／尺八：青木鈴慕 童謡運動によって、さらに音楽の裾野が広がった。 ＊七つの子 (野口雨情 作詞／本居長世 作曲) 歌：古賀さと子 ペチカ (北原白秋 作詞／山田耕筰 作曲) ソプラノ：東野亜弥子／ピアノ：遠藤玲子 戦後、さらに新たな吸収が始まる。 日本から世界へ向けた新たな発信。 ＊管弦楽のためのラブソディ (外山雄三 作曲) 読売日本交響楽団	(8:23)
			*印はBGM